

第10回会議 開催結果報告（概要）

中部フォーラム×東海コンクリート診断士会の共同開催

- 日時：令和3年11月2日（火）13：30～16：00
- 場所：オンライン開催
- 参加者：9自治体・東海コンクリート診断士会・中部フォーラム・中部地方整備局

本会議は、中部フォーラムと東海コンクリート診断士会との共同開催により、「小規模コンクリート橋の維持管理に関する自治体支援」として、①中部フォーラムよりメリハリのある点検、②東海コンクリート診断士会より劣化に応じた簡易補修工法についてプレゼンし、③本テーマに積極的に応募頂いた9自治体と共に、コスト削減の一手法として「自治体点検・補修DIY」について意見交換し、最後に中村先生（名古屋大学）と沢田先生（岐阜大学）にご講評頂きました。参加者及びご支援頂きました皆様方に感謝申し上げます。

プレゼン①では点検時に補修図面を作成する案や簡易補修工事まで行うなどのコスト縮減提案、プレゼン②では補修DIY、再劣化の事例、補修DIYの施工時のポイントなど支援できる診断士会の提案を行いました。③点検・補修DIYの意見交換では、事前アンケート結果に基づき、点検DIYにおける課題や困り事、その対応事例の共有や、補修DIYを実施するための障害や対応策などについて双方向に活発な意見交換が行われました。今後は、本日参加頂いた自治体より後日オファーを頂き、点検・補修DIY実現への支援を継続して参ります。



オンライン風景



中部F×東海コンクリート診断士会の会場風景

第10回会議（補足資料1/2）

次 第

- 第1部**
- 13:30 開会あいさつ（10分）
- ・中部フォーラム
 - ・東海コンクリート診断士会
 - ・中部地方整備局企画部
- 13:40 課題の共有（20分）
- ① テーマ設定の趣旨説明
 - ② 事務局より参加自治体の紹介とアンケート結果の紹介
 - ③ 自治体が抱える現状の問題の紹介（田原市、鈴鹿市）
- 14:00 事務局からのプレゼン
- ① 小規模コンクリート橋の特徴とメリハリある点検の実現（中部フォーラム）
 - ② 小規模コンクリート橋の劣化に応じた簡易な補修工法（東海コンクリート診断士会）
- 14:50 ～休憩10分～
- 第2部**
- 15:00 意見交換（自治体×事務局）
- ※プレゼンを踏まえ、維持管理の効率化・コスト縮減について議論します。
- ・直営で点検・診断できるためには（DIY）
 - ・直営で補修できるためには（DIY）
- 15:40 中部F×診断士会からの提案
- ・DIYを希望する自治体について中部F×診断士会が支援します。
- 会議結果を組織に持帰り、組織内でDIYへの取組を検討ください。
※合意が得られたら「chubu-forum@tamano.co.jp」まで連絡ください。
- 15:50 メンターより講評とあいさつ
- ・中村先生（名古屋大学）
 - ・沢田先生（岐阜大学）
- 16:00 閉会あいさつ



第10回会議（補足資料2/2）

【テーマの説明】

■テーマ1:小規模コンクリート橋の損傷傾向を把握し、損傷に応じた補修工事を体験する(補修DIY)。

(テーマの解説)

コンクリート橋の維持管理として補修工事を実施する場合、

- 高いお金を出してコンサルに設計委託することに疑問がある。（もっとスムーズに工事発注できないものか？）
- 工事業者に補修工法の種類や内容、範囲について質問を受けるが、適切に回答することができない。（第三者専門機関などに相談したい）
- コンサルの概算工事費に対して、工事業者の見積が大きく乖離する。（積算時に留意すべきことを勉強したい。直営でできることは直営でしたい。）
- せっかく工事を実施したのに、数年後に同じ個所が再劣化する。（原因と今後の対策を知りたい）

などの課題に直面することがあります。本テーマでは、このような課題に対応すべくワークショップ（プレゼン+意見交換）を実施し、また、ワークショップを踏まえた現場実習を実施します。

■テーマ2:小規模コンクリートの直営点検・長寿命化に向けた軽微な維持管理を体験する(点検DIY)

(テーマの解説)

5年に1回の法定点検に対して、

- 高いお金を出してコンサルに設計委託することに疑問がある。（小規模なコンクリート橋は自分達で（直営）点検をはじめたい。安価な委託費で点検サイクルをまわしたい。他自治体の事例を知りたい。）
- 数年以内に直営点検を予定しているが、点検の方法がわからない（点検の方法、ポイントを勉強したい。）
- 点検結果に対する損傷評価、診断に対して不安がある。（第三者専門機関などに相談できるサービスを受けたい）
- 前回点検から橋の劣化が進み、Ⅱ→Ⅲの損傷評価を受けた（橋の長寿命化のための軽微な維持管理作業を知りたい。）

などの課題に直面することがあります。本テーマでは、このような課題に対応すべくワークショップ（プレゼン+意見交換）を実施し、また、ワークショップを踏まえた現場実習を実施します。